



沖縄キリスト教短期大学総合教育系主催 第9回特別公開講座

「事故に合わない考え方～危険って何？何が危険？～」

講師：音野 太志氏

(沖縄ウォーターパトロールシステム理事長、AccesSurf Okinawa 実行委員長、沖縄キリスト教
学院大学・沖縄キリスト教短期大学、琉球大学非常勤講師)

2019年1月17日 (木) 19:00～20:30 沖縄キリスト教学院 シャローム会館 1-1教室



● 講演の概要

平成の30年間の間に、公園の遊具から「箱ブランコ」の数が大きく減少している。

その理由は主に「危ない」から。

人間は、成長する上で様々な「チャレンジ」を繰り返している。

そして、「チャレンジ」にはいつも「危険」が伴う。

「危機管理」や「リスクマネジメント」という言葉は世の中に溢れているが、「危機・危険とは何か？」「リスクとは何か？」という問いに対して明確な答えを出せる者は少ない。

今回は、普段それぞれが無意識に実践しているであろう「リスクマネジメント」を理論的に整理する事で、事故に合わないための考え方を知り、より「安全なチャレンジ」ができる環境について考えていきたい。

● 講師プロフィール

2000年より水難救助の世界で活動を開始。当時世界最新の救助技術である水上バイクを使用した救助方法を日本に導入し、その普及活動を行う。

その後は、日本だけでなくハワイを中心とした海外の先進地でも積極的に活動を行う。

国内では、水難救助や救命救急の指導者としてだけでなく、障がいを持った方々へ海の楽しさを伝えるためのイベント「AccesSurf Okinawa」の主宰や、Jr.プログラムの実践やリーダー養成など、次世代に自然の素晴らしさを伝えるための活動も行っている。

ライフガードとして活動を重ね、命の現場にて培ってきた「リスクマネジメント」を軸とした各種講習を国内各地で行っている。

● 著書

『海浜指導者養成テキスト』琉球大学

絵本『海はともだち』文進印刷株式会社

『子どもと楽しむ海浜活動 安全管理ガイドブック&プログラム事例集』共同出版株式会社

備考

●対象 本学学生・教職員（学外の方も参加可）、一般社会人 ※参加費無料

●アクセス
自家用車：学内駐車場をご利用下さい
バス：97番琉大線「キリスト教短大」下車